



21年度事業報告並びに収支決算等を承認 - 県社協理事会・評議員会 -



【5月21日開催の理事会】

5月21日(金)にホテル熊本テルサで、平成22年度第1回理事会並びに評議員会を開催し、次の議案が承認されました。

- (1)平成21年度事業報告
- (2)平成21年度一般会計、公益事業特別会計、生活福祉資金関連特別会計等の6つの収支決算
- (3)平成22年度上記6会計の収支補正予算

平成21年度の事業としては、第二次県社協総合計画「21世紀ビジョン」の最終年度の事業を実施するとともに、①第三次県社協総合計画の策定、②市町村社協とともに取り組んだ、孤立死防止モデル事業の実施、③第4回火の国ボランティアフェスティバルの開催、④地域福祉権利擁護事業の37市町村社協への全面的な委託、

⑤生活福祉資金貸付制度の抜本的な見直しと臨時特例つなぎ資金貸付制度の創設、離職等による生活困窮世帯の自立に向けた「ワンストップ・サービス・デイ」の実施、高等学校の授業料滞納の急増に対する緊急一時的な教育支援金の貸付、⑦福祉・介護人材マッチング事業の実施、⑧介護サービス情報の公表事業の実施など、について報告しました。

なお、2名の理事と4名の評議員が、新たに選任されました。選任された新理事及び新評議員は、次のとおりです。(敬称略)

◆理事 <任期：平成22年6月1日～平成23年11月23日>

新	所属・役職名	前
新立 順子	熊本市社会福祉協議会 会長	吉村 一郎
福田 稠	熊本県医師会 会長	北野 邦俊

◆評議員 <任期：平成22年6月1日～平成23年10月31日>

新	所属・役職名	前
瀧下 チズノ	熊本県民生委員児童委員協議会 副会長	新立 順子
林 朝道	熊本県共同募金会 常務理事	島崎 政廣
吉田 勝也	熊本県健康福祉部健康福祉政策課 課長	古森 誠也
宮田 政道	熊本県国民健康保険団体連合会 常務理事	豊田 貞二

ボランティア活動推進校新規指定校 会議を開催

5月12日(水)、県総合福祉センターにおいて、本年度のボランティア活動推進校新規指定校の担当者と当該市町村社協の担当者等約35名が出席し「ボランティア活動推進校新規指定校会議」を開催しました。

会議では、新規指定校10校に指定証書が交付された後、特別養護老人ホーム「くわのみ荘」の総合相談員の徳村正俊氏から同ホームでの小学生をはじめとする地域住民との交流の取り組み等についての講演が行われました。また、昨年度指定校の山鹿市立山鹿小学校の寺前研太郎教諭と熊本市立白川小学校の脇坂則子教諭から、障がい者や高齢者、妊婦の疑似体験装具を使った学習や学校で栽培・収穫した花や米の福祉施設への寄贈などの取り組みが紹介され、参加者は熱心にメモを取られていました。



【指定証書交付式】

生活福祉資金の貸付件数が急増

一昨年来からの経済危機による厳しい雇用情勢の中、急増する失業者、低所得者の生活困窮状態の広がりを踏まえ、安全網(セーフティネット)の整備強化が行われました。生活福祉資金も昨年10月から「借りやすく、貸しやすく」を基本方針に、連帯保証人の要件緩和や貸付利子の引下げなどを行い、21年度の貸し付けが急増しました。近年、貸付件数は減少傾向が続いていましたが、21年度は499件(198,663千円)で例年を大幅に上回る貸し付けになりました。そのうち、失業者等の生活を支援する制度として、昨年10月から始まった総合支援資金の貸し付けは199件(約96,360千円)で、全体の約4割に上り、同じく新たに創設された臨時特例つなぎ資金の貸し付け66件(6,290千円)と併せて、雇用情勢の悪化を裏付ける結果となりました。

また、高校の授業料を滞納し、卒業や進級ができなくなる高校生を支援するため、滞納した授業料等を支払うための教育支援資金の貸し付けを、21年度末に特例的に行いました。受付は2月から3月末までの期間でしたが、67件(約15,023千円)を貸し付け、東京に次ぎ全国で2番目の貸し付け件数、金額となるなど、多くの利用がありました。

資金種類		21年度決定	
		件数	金額(千円)
福祉資金	福祉費	32件	36,189
	緊急小口資金	49件	4,245
教育支援資金		212件	55,843
不動産担保型生活支援資金		1件	3,521
総合支援資金		199件	96,360
離職者支援資金(21.9まで)		6件	2,504
生活福祉資金 計		499件	198,662
臨時特例つなぎ資金		66件	6,290
貸付総計		565件	204,952

【21年度貸付決定状況】

福祉・介護人材マッチング支援事業のご活用を

本事業は、福祉・介護職の人材を確保し、離職率を減少させるために、①求職者が望む職場を提供すること②求人事業所が望む求職者を獲得すること③長期就労できるような職場作りの支援を目的としています。

そのために、福祉人材・研修センターにキャリア支援専門員を配置しています。具体的な活動内容としては、福祉の相談員を配置している熊本・菊池を除く県内8カ所のハローワークに相談窓口を開設し、①福祉の仕事内容を知りたい②転職を考えている③専門資格の取得方法を知りたいといった求職者の相談に応じています。

また、求人事業所の開拓を進め、求職者とのマッチングを図ります。

併せて事業所に対しては、働きやすい職場作りに向けた指導、円滑な就労、定着を支援するために、公認会計士等の専門家をアドバイザーとして派遣します。是非、ご活用下さい。

21年9月からの事業開始のため、昨年度の実績は求職相談対応件数69名、求人開拓数41件、アドバイザー派遣回数48回となっていますが、今年度はより多くの求職者の就労支援に努めてまいります。



市町村社協事務局長研修会を開催



【講演をされる高橋鹿児島国際大教授】

5月13日(木)に熊本交通センターホテルで、「平成22年市町村社協事務局長研修会」を開催しました。

市町村社協を取り巻く環境が大きく変化する中で、行政・県社協・市町村社協がどのような方向性を持って事業展開を行うのかを主眼に、県の行政説明、県社協の事業説明のあと、鹿児島国際大学福祉社会学部教授の高橋信行氏から、「福祉ニーズ多様化の中での社協活動」をテーマに講演をいただきました。

高橋氏は、これまでの日本の地域福祉の歴史と、そこに关わる社会福祉協議会の事業を振り返りながら、これまでに社協が果たした役割と、これからの課題について専門的な分析も交えながらお話いただきました。また、「フードデザート」など、新たに生まれつつある社会的課題に関して、解説をしていただき、社協が新しいニーズに素早く対応する必要性を説かれました。

各課トピックス

* お問合せは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆ 県民間退職者共済への加入のご案内 ◆</p> <p>熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済事業は、熊本県内にある民間社会福祉事業を営む事業所（社会福祉法人）に勤務されている職員の皆様の将来の生活安定を図ることを目的に、相互扶助の理念をとり入れて設計した、加入者にとって大変有益な退職共済です。</p> <p>毎月加入ができるようになっており、年度途中での採用の方も、その翌月の1日（採用日が1日の場合は採用日）から加入が可能です。また、制度に加入されている事業所間の継続異動もできます。</p> <p>各種手続き及び事業内容についてのお問合せは、総務課までご連絡ください。</p>	<p>◆ 市町村社協トップセミナーのお知らせ ◆</p> <p>日時：平成22年6月21日（月）13:30～ 会場：KKRホテル熊本 対象：市町村社協会長及び役職員 県市町村関係職員 内容：「大牟田市における地域福祉活動」（仮） 大牟田市保健福祉部長寿社会推進課長 池田武俊 氏</p> <p>申込期限：6月10日（木）まで ※当日は熊本県市町村社協連合会総会も併せて開催されます。</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆ 福祉経営相談室をご活用ください ◆</p> <p>社会福祉法人や社会福祉施設を経営する中で様々な課題や問題が起こることがあります。「もっと詳しく知りたい」「すぐに結論がでない」「最終的に法人経営者が取り組むしかない…」、このような案件に対して、専門相談員（3名）が専門家の立場から適切な助言をいたします。</p> <p>秘密は厳守し、無料です。どうぞお気軽にご相談ください。</p> <p>【来所相談日】※予約が必要です。 ○社会保険労務士 第1月曜 13時30分～16時 ○公認会計士 第2火曜 〃 ○弁護士 第3火曜 〃</p>	<p>◆ 主任児童委員研修会のお知らせ ◆</p> <p>日時：7月6日（火）10:00～15:30 ※今年度は1日研修です。 会場：熊本全日空ホテルニュースカイ 内容：講演 「主任児童委員活動における傾聴のやり方について」（仮題） 講師 元崇城大学准教授（熊本大学非常勤講師） 臨床心理士 小原 守雄 氏 分散会 「主任児童委員活動における傾聴のやり方等、現在抱えている課題とその解決策について」</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440
<p>◆ 介護支援専門員実務研修受講試験の「試験案内」を配付します ◆</p> <p>配付期間：6月14日（月）～7月16日（金） 配布場所：県社協（福祉人材・研修センター） 市町村社協（支所含む） 県認知症対策・地域ケア推進課 熊本市高齢介護福祉課</p> <p>※土・日曜、祝日を除きます。 ※郵送による試験案内の配布は行いません。 受験申込書受付期間：7月8日（月）～7月16日（金）</p>	<p>◆ 全市町村にて全面的な委託方式を実施 ◆</p> <p>増加するニーズにきめ細かに対応し、地域住民に最も身近な市町村社協が主体的に取り組める体制を構築するため、平成20年度から平成22年度の3カ年計画で、業務の全面的な委託を進めてきましたが、本年4月1日で全市町村社協への移行が完了しております。</p> <p>今後も、市町村社協と連携しながら判断能力が低下された方々の地域生活を支援していきます。</p>
ボランティアセンター	福祉サービス評価センター
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	TEL 096-324-5473 / FAX 096-324-5456
<p>◆ 今年の災害ボラセン設置訓練は9/5に人吉市で実施 ◆</p> <p>熊本県で毎年実施されている『熊本県総合防災訓練』は、9月5日（日）に人吉市で実施されます。</p> <p>同訓練では、5年前から本会と地元市町村社協との協働で『災害ボランティアセンター設置訓練』を併せて実施しています。</p> <p>本年も人吉市社協を中心に球磨郡内の町村社協連携し、災害復旧に欠かせないボランティアの受入れとニーズに即したボランティアの派遣を行うセンターの設置訓練に取り組みます。関係者に広く周知いただきますとともに多数ご来場ください。</p>	<p>◆ 調査員フォローアップ研修のお知らせ ◆</p> <p>介護サービス情報の公表制度の調査事務に従事する調査員の資質向上を図るため、次のとおり実施されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日時：6月17日（木）又は18日（金）のいずれか1日を受講 2 会場：くまもと県民交流館パレア9・10階会議室 3 内容：（1）事務の実施基準の改正について （2）21年度調査にあたって課題整理 （3）調査活動に関するグループワーク